

特集 奈良女子大学で学ぶ



富崎 奈良女子大学で学ぶことを学生のみなさんがどう感じておられるのか。率直にお話ししていただきたく、お集まりいただきました。

伝統ある女子大で、最先端の研究を

大庭さん 受験の時の印象は校舎がとても素敵で、文化財の中で勉強できることも魅力でした。入学してからは授業はもっと固いものかと思っていたのですが、リベラルな授業で驚きました。女性の先生も奈良女子大には多いですね。

富崎 約200人の教員のうち女性教員は30%ぐらいですね。文学部は30%ぐらいが女性で、生活環境学部は50%を越えていると思います。理学部はようやく20%越えましたね。

佐藤さん やはり理系の女性研究者というのは全体的に少ないですね。

富崎 本当に少ないと思います。だから今、一生懸命、理工系の女性研究者の比率を上げようとしています。ただ、研究者ですから、誰でもというわけにはいかず、きちんと研究者としてやっていく自覚を持った方、そういう資質を兼ね備えた方を育てていきたいと考えています。このような人達が本学で育ち、研究者として成長していく姿は、学生にとって良い手本になると思います。

大庭さん 大学に入るまで女性が熱意を持って研究を突き詰めていくようなイメージが私にはあまりなかったので、女性研究者の存在は新鮮で素敵にみえます。

松村さん 以前、所属学科の特別授業で他大学の院生が講演をされたことがあったのですが、女性の研究者で、しかも社会学で音楽社会学をずっと研究しておられることに、すごくときめき、憧れを抱きました。

少人数制による、教員と学生の距離

富崎 奈良女子大学は少人数制をとっています。しかし、1人の教員が少しの人だけを見ているのではなく、小さいグループをいくつも見ているのです。教員と学生の距離感がちょうど良いと思います。固い関係ではなく、親しみある話しやすい関係が築けていると感じています。

大庭さん 授業の人数が少なく、しかも参加型の授業が多いので、担当ではない先生でも名前を覚えてくださっていると、かえって真面目に授業に行きますよね。「大庭さん、いないね」と思われると思って。

佐藤さん 勉強に対しても、すごくやる気が沸き、楽しく感じます。

松村さん 授業の後に「このようなことが知りたいです」と先生に伝えたら、「次の授業までにレジュメ作ってくるね」と、



富崎 松代

副学長(企画・研究担当) 専門: 数学

平成23年4月1日より現職。本学の附属図書館長及び男女共同参画推進室長を兼務。本学の女性研究者への支援に加え、女子学生の教育研究環境の向上にも取り組んでいます。

佐藤 文香

文学部人文社会学科3年生

出身校: 星城高等学校(私立・愛知県)

コメント: 鹿と文化財と気の置けない友人たちに囲まれて、毎日充実した大学生活をおくっています。



レスポンスが早くてすごいと思いました。先生と学生の距離が近いので、自分からアプローチしていけば、その先生の目に留まる存在になると思います。

大庭さん 授業にあまりに人が多いと、聞かなくてもいいかなという雰囲気が出てしまうと思います。そして、先生も聞いてないから、見ていないから、というような授業に。そういう授業が無いことは良いことだと思います。

佐藤さん 私はドイツ語を履修していましたが、クラスで一緒だった人たちと毎年、先生の誕生日会をしています。このような繋がり、とても嬉しいです。

松村さん 卒論ゼミのあと、しばしば先生を含めて懇親会をやることがあります。こういう所でも先生との距離が近いのは少人数ならではの良さだと思います。

大庭さん フレンドリーな雰囲気が奈良女子大には流れていると思います。でもいい意味で、みんな、真面目です。例えるなら、そう簡単にノートは貸さないという。

松村さん 勉強に対してプライドを持って取り組んでいる人が多いでしょうね。

富崎 理学部では、プロティで話している学生をよくみかけます。ホワイトボードを使って議論をしていることもあります。近くを通りかかった先生に質問したり、逆に先生が議論に加わったり。先生も学生も、講義やゼミを離れて、自由に楽しそうに議論していますね。

■ 古都・奈良で学び、交流する

大庭さん 日本史で習った場所や大学の授業で習った遺跡などが、少し行けばあるという環境。実際にこの目で確かめられ、刺激を受けることができます。

佐藤さん 近くに文化財や遺跡がたくさんあります。日中は観光客が多いですが、夕方から夜の人が少なくなってからは、落ち着いて良い雰囲気になります。

大庭さん 良い意味で田舎で、馴染みやすい町。1年で慣れました。少し行けば京都にも近いですし、遊びに行こうと思えばさっと行ける距離。大学は駅から近く、関西圏の人は通学にすごく適しているのではないかと思います。

松村さん 奈良女子大の立地が繁華街ではないので、学問に打ち込むには最適な環境だと思います。交通の立地もとても良く、学生の街だと思います。

大庭さん 私は寮なのですが、寮母さんや寮父さんが「お帰りなさい!」と出迎えてくださるので、あまりホームシックを感じることもありませんでした。昼間も夜間もいてくださるので安心です。

佐藤さん 寮生の自主性に任され、自由な雰囲気だと友人から聞いています。

大庭さん 寮は友達ができやすいです。1回生の時にすぐに友達ができました。それに、寮の団結のようなものもあります。最初1~2回生の棟は学年によって分かれていますが、3~4回生の棟は学年別ではないので交流も多いかもしれません。

松村さん 3~4回生の棟は留学生も一緒ですから、友達で隣の部屋になった留学生と仲良くなったという話を聞きました。

大庭さん 中国からの留学生と仲良くなり、「今度、私の部屋にご飯を食べに来てよ。私が中国の家庭料理を作ってあげるから」と言われて、作り合いをしたことがあります。このように生活に根付いた交流が寮だとできます。

富崎 奈良独特の雰囲気がありますね。文化遺産も自然環境もとても豊かで。文

CIRCLE

競技かるた部

奈良女子大学には多くの公認サークルがあり、それぞれが個性的な活動を行っています。今回はこの中から競技かるた部を紹介します。競技かるたは近頃マンガやテレビアニメなどでも取り上げられ、脚光を浴びており、試合の華やかなイメージをお持ちの方も多いのではないのでしょうか。部長の山本祥穂さんからのセルフレポートです。



日々の練習風景

こんにちは、競技かるた部です。私たちは、現在、1年生7人、2年生8人、3年生2人、4年生3人の計20人で、月・火・木曜日の週3日活動しています。競技かるたって何?という方が多いかと思いますが、だいたいの方は「難しそう」というイメージが一番にくるのではないのでしょうか。実際そんなことはありません。簡単にいうと、音に反応して札をとる、いわゆる反射ゲームみたいなものです。文化系サークルの中でも、かなり運動系サークルに近いものだと私は思っています。静かな中で集中し、音が聞こえた一瞬で反応する、そんな競技です。部員は大学から競技かるたを始めた者がほとんどです。普段はにこにこして

いて、和気あいあいとした雰囲気なのですが、ひとたび試合が始まると、みんな顔つきが変わります。楽しいところは楽しく、まじめなところはまじめに、といったふうに、メリハリをつけて部活動をしています。やってみたいとわからない楽しさが競技かるたにはあると思います。興味のある方はぜひ。お気軽に見学に来てください。



山本 祥穂

生活環境学部生活健康・環境学科3年生

出身高校: 石川県立小松高等学校

系・理系を問わず、落ち着いて勉学に取り組むには良い環境ですね。

■ 活発に行われる学生活動

佐藤さん サークルに入れば、同じ目的を持って活動する場合がほとんどです。私の所属している管弦楽団は、1つの音楽を作るという目的があり、すごく仲良くなりやすいと思います。また、他学部の友人も多くでき、本当にサークルに所属してよかったと思います。

大庭さん 他大との交流もあるので、やはりサークルに所属することをお勧めします。私の所属するジャズサークルは、町おこしイベントでの演奏依頼が来たりするので、地域に根付いていると感じます。

松村さん 私は書道部と文芸部に所属しています。部員同士の仲は密で、他学部との交流もあります。奈良テレビさんからお声をかけていただき、夕方の番組に出演し、書道部でパフォーマンスをしました。学外と交流のある部活は本当に多いですね。

佐藤さん 私は年に2回、演奏会をしています。学外の方やホールの方などとふれ合い、その運営の仕事もとても勉強になります。学生ということもあって優しくして下さるのですが、一応のマナーなどが必要となりますので、学校で勉強しているだけでは身に付かないものを学ぶことができ、勉強になりました。

松村さん 大学の授業では分からないことが、サークルや部活に入ると分かることもあります。就職活動で忙しくなり辞めることもあるかもしれませんが、1~2回生の時は所属していて損はないと思います。

富崎 「勉強」は大学の中だけでできる

ものではありませんね。皆さんが活動する中で、地域や人との交流を通して学ぶことも沢山あると思います。色々な経験を積むことで、広い視野でものを見ることができるようになると思います。

■ 『女性』が学ぶ大学として

松村さん 大学院に進学することを本気で考えている友達が多くて驚いたというか、嬉しいというか。みんな、何か突き詰めたいものを持っているのではないかと感じます。

大庭さん 好きなことが見つかりやすい大学かもしれません。共学だとどうなのかは分かりませんが、「女の子だから」という言い訳が利かないですね。

富崎 言い訳も利かないし、そういう理由で閉ざされてしまうこともないので、全てが女性のために開かれていると思います。

松村さん 確かに、異性の視線がないことは、共学との環境とは全く違うと認識しています。何でも自分からやっていかないと前に進みません。

大庭さん 女性が学ぶというプライドという大袈裟かもしれませんが、「女性が勉強するということは素晴らしいことなんだよ」と肯定してもらえた時は嬉しかったです。

富崎 日本の大学で、理工系を卒業する女性の数そのものが少ないです。しかし、本学を卒業する学生は全て女性ですから、全国的に見ても非常に少ない分野で働く女性の輩出、人材の育成を担っているように思います。また、結婚後も働くという卒業生が多いようにも感じます。自立して生きるということを自然と身につけているということでしょう。



松村 明日香

文学部人文社会学科3年生

出身校：兵庫県立川西緑台高等学校

コメント：文化社会学を勉強中です。書道部と文芸部に所属。趣味は音楽鑑賞とイラストで、友達と学外展示会もしています。

大庭 万里奈

文学部人文社会学科4年生

出身校：福岡県立東筑高等学校

コメント：音楽とお酒と社会学が大好きな人文社会学科の4年生です。私にとって奈良女は夢のために勉強が楽しくできる大学です！



SCIENCE Open LAB

サイエンス オープンラボ

理学部では学生が主体となって、多くの人達に科学の楽しさ、面白さを知ってもらえるような様々なイベントを企画、実行することを通して学生自身の学習意欲の強化、コミュニケーション能力の育成、またリーダーとしての素質を養う事を目的とした科目サイエンスオープンラボ（以下SOL）を開講し、毎年11月に発表会を実施しています。



学生の発表を熱心に聞く子どもたち

昨年度、私はこの科目の活動全体の取りまとめ役をしました。この活動の流れとして、6月頃に受講者が集まり役割を分担し企画を考え、夏休みには互いに連絡を取り合い、計画を練っていき、開催日前日は各学科の受講者が集まり自分たちが企画した内容を発表し合います。そうして当日を迎えるわけですが、どの段階においても共通して言えるのは学生自身が積極的に自分から物事に取り組みなければいけないということです。

私はこういったSOLの活動を通して、先生方から何か課題を与えてもらうのを待つだけのよう受け身な姿勢から、自分の考えをしっかりと持ち、実際にそれを実行するなど物事に積極

的に取り組むことができるようになったと思います。また、取りまとめ役として常に全体の状況を把握し、思うように作業ができない人がいればサポートしたり一緒に問題解決をした経験は私にとって、余裕をもって全体を客観的に見て冷静に物事を判断することの大切さを知る大変貴重な機会でした。この経験は学生の間だけでなく社会に出た際にも大いに生かすことができます。

私にとって、余裕をもって全体を客観的に見て冷静に物事を判断することの大切さを知る大変貴重な機会でした。この経験は学生の間だけでなく社会に出た際にも大いに生かすことができます。



坂本 るみえ

大学院人間文化研究科
数学専攻1年生

出身高校：
四天王寺羽曳丘高等学校
(私立・大阪府)

短 信

「奈良女子大学文学部<まほろば>叢書」を創刊しました

文学部は、研究の活性化と研究成果の社会への広報を目的として、「奈良女子大学文学部<まほろば>叢書」を創刊し、平成24年4月にその第1号として、『大学の現場で震災を考える』をかまがわ出版より発刊しました。これは、昨年6月、文学部で開催した「東日本大震災ウィーク in 奈良女子大学文学部、授業の中で震災を考える」に参加した授業をもとに編集されたものです。

「<まほろば>叢書」では、今後さまざまなテーマを取り上げていきます。平成24年度中には第2号（麻生武・浜田寿美男編『現場の心理学』）および第3号（吉田孝夫著『ドイツ児童文学と民話——オトフリート・プロイスラーを読む』）が刊行されます。



旧鍋屋交番が「ならきたまち」の案内所としてリニューアルしました

奈良女子大学の寮の南側にあった旧奈良警察署鍋屋連絡所（昭和3年築）が改築され、このほど「旧鍋屋交番きたまち案内所」として生まれ変わりました。7月1日には関係者が一堂に会し、開所式が行われました。

当初、取り壊す計画もあった旧鍋屋連絡所ですが、地元住民と本学教員の強い熱意から「鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会」が結成され、保存活動に取り組んだ結果、奈良市では初めて地元、市、大学の三者が協働して活用する施設として整備されることになりました。建物の改修にあたっては建築当時の素材が可能な限り活かされ、往時の面影が見事に蘇らされています。近年脚光を浴びつつある本学の周辺地域「ならきたまち」。その玄関口に位置する案内所は街の活性化の拠点という新たな役割を担います。



入試情報

本年度も各地で開催される入試説明会に参加しています。7月下旬以降の開催日程はこちらのとおり。多数のみなさまのご参加をお待ちしております。

7月26日(木)	16:00~19:00	国公立・私立大学進学相談会「大学ガイダンス」	大阪府	天王寺ミオ (12F: Mioホール)
7月29日(日)	11:00~16:00	全国国公立・有名私大相談会2012	神奈川県	パシフィコ横浜: 展示ホール B
8月12日(日)	10:00~16:40	主要大学説明会2012	大阪府	大阪国際会議場
8月18日(土)	13:00~16:00	大学・短大進学相談会	大阪府	天王寺都ホテル
8月20日(月)	13:00~16:00	2013年度入試 大学・短大進学相談会	静岡県	アクトシティ浜松 コンgressセンター 3F: 31 会議室
8月21日(火)	10:00~16:40	主要大学説明会2012	東京都	大田区産業プラザ
9月1日(土)	10:00~16:40	主要大学説明会2012	広島県	広島国際会議場
9月4日(火)		国公立大学・短期大学進学ガイダンス	岡山県	岡山コンベンションセンター
9月10日(月)		国公立大学・短期大学進学ガイダンス	兵庫県	ホテル日航姫路
9月22日(土)	13:00~16:00	2013年度入試 入学願書配布会&個別進学相談会	奈良県	なら100年会館 (1F: 大ホール)
9月23日(日)	13:00~16:00	大学・短大進学相談会	京都府	メルパルク京都
9月29日(土)	13:00~16:00	大学・短大進学相談会	大阪府	大阪府立体育会館
12月15日(土)	13:00~16:00	大学・短大進学相談会	大阪府	大阪府立体育会館
12月23日(日)	13:00~16:00	大学・短大進学相談会	京都府	メルパルク京都

25年度入試について 平成25年度入試について、次の変更事項がありますのでお知らせします。26年度入試・27年度入試の変更点については本学webサイト (URL▶<http://www.nara-wu.ac.jp>) の「入試最新情報」をご覧ください。

- 平成25年度一般入試の変更点・新規導入点等…生活環境学部住環境学科：後期日程に課していた『課題』試験に代わり、『面接』を実施します。
- 平成25年度推薦入試の変更点・新規導入点等…生活環境学部住環境学科において、推薦入試（募集定員：3名）を実施します。それに伴い、一般入試前期日程募集人員が25名に変更になります。

公開講座情報

今夏以降開催の一般の方々対象の公開講座を紹介します。会場は本学内です。詳しくはホームページでご確認または社会連携センター (tel.: 0742-20-3968) までお問い合わせください。

講座名	開催日時	募集	講師	受講受付開始日	
数学・エピソード2012	平成24年 8月24日(金)	10:00~15:00	80人	森藤 紳哉 奈良女子大学 教授 篠田 正人 奈良女子大学 准教授	随時
パソコン講座 ①Adobe Illustrator編 ②MS Word編 ③MS PowerPoint編 ④MS Excel編	①平成24年 9月5日(水)、6日(木) ②平成24年 9月19日(水) ③平成24年 9月21日(金) ④平成24年 9月25日(火)	※各回とも 9:00~17:00	30人	藤野 千代 奈良女子大学 特任教授	8月1日 ※各編ごとにお申込みください。
楽屋裏から見た正倉院展	平成24年 9月8日(土)	10:30~12:00	70人	内藤 栄 奈良国立博物館 学芸部	7月1日
正倉院のしごと	平成24年 9月29日(土)	10:30~12:00	70人	杉本 一樹 正倉院事務所 所長	7月1日
物理の魅力に迫る!	平成24年 9月29日(土)	13:00~16:15	50人	清川 修二 奈良女子大学 准教授 高橋 智彦 奈良女子大学 准教授	随時
パリのモーツァルト	平成24年11月10日(土)	時間未定	50人	小田切 美穂 ピアニスト	8月1日
集まって暮らすことを考える ~3.11から住まいを考える	平成24年11月17日(土)	13:00~17:00	50人	城戸崎 和佐 神戸大学 特任教授 槻橋 修 神戸大学 准教授	随時
コンテンツを生かすも殺すも腕次第	平成24年12月頃	時間未定	50人	野上 卓志 (株)電通 スーパーバイザー	10月1日



編集・発行 / 奈良女子大学広報企画室 編集責任者 / 室長 棚瀬知明 連絡先 / 奈良女子大学総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町 Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimu.nara-wu.ac.jp

■バックナンバーは HP をご覧下さい。▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/nwtoday.html>